

平成 14 (2002) 年 6 月 29 日

## 「地質汚染診断士」試験問題

### A. 専門知識と技術者倫理に関する筆記試験

(1) 下記の地質汚染にかかわる専門用語から 3 つを選択し、それぞれについて 400 字詰め原稿用紙 1 枚以内で簡潔に説明してください。(60 点)

- ①簡易分析法    ②鍵層    ③ポリクロロジベンゾパラジオキシン (PCDD)
- ④地下水の化学進化    ⑤モニタリング    ⑥重金属    ⑦完全浄化    ⑧碎屑堆積物
- ⑨土壌汚染対策法    ⑩有害地層と汚染地層    ⑪地下水観測井
- ⑫バイオレメデーション    ⑬土呂久の砒素汚染    ⑭要措置レベル    ⑮地下水流速
- ⑯宙水    ⑰斜交葉理    ⑱公定分析法    ⑳有機塩素化合物

(2) 民間組織である ISO (国際標準化機構) が各種の認証を行うように、「地質汚染診断士」の資格も内閣府承認の NPO 法人である民間組織から発行されるもので、非常に大きな社会的責任を持つこととなります。

下記の技術倫理の問題から 1 問を選択し、400 字詰め原稿用紙 2 枚以内で簡潔に回答して下さい (40 点)。

1. あなたが、「地質汚染診断士」として、大きな地質汚染現場の調査を担当し、発注者側の技術士から、汚染がありながらも国の調査・対策指針には相応した調査なので、これ以上の詳細な調査は不要であると言われた場合に、あなたはどのように対応しますか。
2. あなたが、完全浄化達成には 3 億円を必要とする地質汚染現場の調査・浄化の仕事を 2 億円の予算で完結するようにと上司から命令され、さらにこの予算で発注できなければ調査・浄化業務は停止になると言われました。「地質汚染診断士」の資格を持つあなたはどのように対応しますか。
3. ホルムアルデヒドによる汚染地下空気の悪臭が発生している一般住宅地があります。そこに住む化学物質過敏症の市民が、「地質汚染診断士」の資格を持つあなたに、自分の健康被害状況を訴えてきました。あなたはどのように対応しますか。
4. 土壌汚染対策法で指定された指定調査機関の環境計量士と共同の調査・浄

化作業中に、明らかに環境基準以上の地質汚染現象がありながらも、前述の環境計量士が国の調査・対策指針に適合しているので浄化終了を主張しました。「地質汚染診断士」の資格を持つあなたはどのように対応しますか。

B. 地質汚染調査・浄化業務体験と応用能力に関する筆記試験 (50 点)

あなたが取り組んだ地質汚染調査・浄化対策の現場数・汚染化学種数などを述べ下さい。

その現場の中から、地質汚染診断士として最もふさわしいと思われる現場を選び、留意した点、新知見および今後の課題についても 400 字原稿用紙 5 枚以内に簡潔に述べて下さい（必要があれば図を挿入しても結構です。）。

C. 専門および経験業務に関する口頭試問 (50 点)